



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！ になれるところ

第348回御影道中供奉人集会開催



御依頼状授与式



講題『蓮如上人のおとも』

篠原吉崎別院輪番の挨拶ではじまり、続いて谷口協力会会長挨拶の後、供奉人お一人おひとりに輪番より御影道中供奉人御依頼状が手渡されました。昨年はコロナウイルス拡散防止の為、従来のすがたでの御影道中は中止となり、今年は各地で緊急事態宣言が出され、先の見えない状況の中で今回はどうなるのかと困惑の色を隠せない参加者をまえにし、講師の牧野豊丸師（福井教区 託願寺住職）は自らの随行教導の経験を振り返り「テレビ等での報道にて少し有名になり、本来のすがたが不明確になり、スポーツ化し歩く事に重きを置いていないか」と問いかけ「道中はあくまでも蓮如上人の道中であり、信心をお伝えする大事な仏事であり、そのお仕事に賛同された方々を供奉人とお呼びしたのでしよう」と熱く語られました。

願いに帰る

その後、講師の牧野師を交えて検討会が開かれました。戸惑いの中で、今回を機に会所の声を聞いてはどうか、今年度を再開の準備に当てればどうか、などの意見が出された中で、今一度御影道中の願いに立ち返り、蓮如上人御忌法要、御影道中に関わり続ける事が検討会の場で確認されました。



検討会の様子